

---

**ただの、どこにでもいるふつうのメイジですからっ!**

普通

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ただの、どこにでもいるふつうのメイジですからっ！

### 【Nコード】

N9436Y

### 【作者名】

普通

### 【あらすじ】

ありがちなゼロ魔にオリ主転生モノ。本人は主人公になどなりたくないけど、うっかり首を突っ込んで途中で引けなくなるタイプ。原作のことは遠い記憶の彼方で、臆げな記憶を頼りに、原作どおりになるようしようと頑張れば頑張る程、明後日の方向に事態は進んでゆく。主人公の座右の銘は「明日から頑張る。」  
チート具合はテラチートという言葉も生温いぐらいのチートなのでドン引きするかもしれませぬ。さらに基本的にオリ設定の嵐です。こんな地雷いっぱいのはずですが読んでくれる人がいたら嬉しいで

५.

## 普通に原作開始

ここはハルケギニアはトリステイン、由緒正しい貴族の子弟の魔法の学舎、トリステイン魔法学院。

今日は2年生に進むために必須である、春の使い魔召喚の儀式が執り行われている最中です。

私は所謂ところの転生者とかいうもので、なんと驚き、前世の記憶を持っていきます。その前世の記憶の中では、この世界はゼロの使い魔というライトノベルとして登場していました。

ここは魔法を使えるメイジという人たちが存在し、中世レベルの文明で、貴族が絶大な力で平民を支配し、亜人や幻獣が跋扈する一級危険世界なのです。それも、私が生まれたトリステインという国は、伝統があるもののちっちゃくて弱っちい国家、それも物語の中では主人公達が活躍しなければ滅んでしまう程です。

私が最初にこの世界が”あの”ハルケギニアだと気づいたときは、貴族の家に生れたことを神に感謝し、もし魔法学院に行つて物語の”ヒロイン”であるルイズ・なんとか・アリエール嬢がいたりしたらどうしよう、と悩んだものです。

もちろんいましたよ、隣のクラスに。神って呪い殺せるんでしょっか？

”原作”の冒険に巻き込まれないよう仮病をでっちあげて、2、3年の間学院を休学しようとも考えましたが、私の家がある以上、ここは物語とは違う平行世界ということになります。もしそのせいで物語どおりに主人公が現れず、ヒロインが覚醒してくれないと、私の国はなくなってしまう、家も潰れてしまいます。

流石に中世レベルの文明で平民暮らしなんてゴメンなので、すごく、

すごく気が進まないのですがヴァリエールさんが伝説の使い魔・ガンダールヴの斎藤を召喚して、伝説の系統・虚無に覚醒するまで影からこっそり見守ることにしました。ええ、見守るだけですとも。

「儀式、次。」

なんかちんまい青髪の少女にクイツとマントを引っ張られたような気がしますが、きつと気のせいです。

「風竜を召喚するなんて、さすがタバサね！ 私も火竜呼べるかしら？」

「きゅいきゅい。」

ウキウキしながら杖をぶんぶん素振りしている褐色肌に赤髪のグラマラスなおねいさんと、独特の啼声をするドラゴンが視界の片隅にいますが、これもきつと目の錯覚でしょう。

物語はこの使い魔召喚の儀式から始まっていましたが、よく考えればごく当たり前のことですが、その前に一年間同じ学院で暮しているのですから、関係者にエンカウトするのは当然なのに。

そもそも十年以上前のアニメの内容なんて細かく覚えていないのは当然じゃないですか！ しっかり覚えているのは胸革命バストレボリューションと日野理恵ラジオによく萌えたことぐらいですよ！

私のゴロゴロハルケギニアライフ計画を危険イッパイワクワクハルケギニアアドベンチャーにさせないためにも、頑張らなくては。明日から。

「人生諦めが肝心。」

雪風のように冷たく鋭い言葉で私の現実逃避を一刀両断する青髪の少女に促され、私は広場の中央に進み出ます。

「我が名は、エドモン・ディチロ、五つの力を司る五角形<sup>ペンタゴン</sup>、我に相  
応しい使い魔を召喚せよ。」

銀色の人間大の鏡のような扉<sup>ゲート</sup>が宙に浮かぶ。

私の中で運命の扉がギシギシ音を立てながら開いた、そんな気がし  
た。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9436y/>

---

ただの、どこにでもいるふつうのメイジですからっ!

2011年11月28日03時35分発行